

試 験 結 果 報 告 書

製 品 名 : ハイモルマックス®#20 (石岡・仙台製造品)

試験名称 : JIS A 6916:2021 建築用下地調整塗材 (CM-2)

2026 年 7 月 1 日

株式会社レゾナック建材

品質保証グループ

1. 試験目的

ハイモルマックス®#20 における、「JIS A 6916:2021 建築用下地調整塗材 (CM-2)」の性能適合性の確認を行う。

2. 試験内容

「JIS A 6916:2021 建築用下地調整塗材 (CM-2)」に定められた試験方法により下記項目の試験を行った。

- ① 軟度変化試験
- ② 耐ひび割れ試験
- ③ 耐衝撃性試験
- ④ 曲げ強さ試験
- ⑤ 圧縮強さ試験
- ⑥ 付着強さ試験（標準養生、低温養生）
- ⑦ 吸水試験
- ⑧ 透水試験
- ⑨ 長さ変化試験
- ⑩ 仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験
- ⑪ 仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性試験

3. 商品名・種類及び使用方法

表-1. 商品名及び調合

商 品 名		ハイモルマックス®#20
種 類		セメント系下地調整厚塗材 2 種 下地調整塗材 CM-2
正味質量	粉 体	25kg/袋
使用方法	基 本 調 合	粉体：水＝25kg : 7.5kg
	標準加水量	7.5/25kg (粉体)
	標準塗面積	約 6.3m ² /袋 (塗厚 3mm)
	標準塗厚	0～5mm
	可使時間	約 60 分

4. 試験条件

① 試験室及び養生室の状態

表-2. 試験室及び養生室の状態

	温度 (°C)	湿度 (%)
試 験 室	20±5	65±20
一般養生室	20±2	65±10
湿空養生室		80 以上

② 調合及び塗厚

表-3. 調合及び塗厚

調 合	粉体：水＝1500g：450g
塗 厚	5mm

③ 付着強さ試験用基板の表面処理方法

プライマー（ハイデルマルゾン EV-300）の 5 倍液（プライマー：清水＝1：4）を刷毛で 1 回（150g/m²）塗布し、皮膜が乾燥するまで静置する。

5. 試験結果

① 軟度変化試験

軟度変化試験の結果を、表-4 に示す。

表-4. 軟度変化試験結果

	フロー値		軟度変化 (%)
	初期	60 分静置後	
1	149	150	-0.6
2	147	150	-2
3	146	150	-2.7
平均	—	—	-2

② 耐ひび割れ試験

耐ひび割れ試験の結果を、表-5 に示す。

表-5. 耐ひび割れ試験結果

番号	試験結果
1	ひび割れの発生は認められなかった
2	ひび割れの発生は認められなかった
3	ひび割れの発生は認められなかった

③ 耐衝撃性試験

耐衝撃性試験の結果を、表-6 に示す。

表-6. 耐衝撃性試験結果

番号	試験結果
1	ひび割れ及び剥がれの発生は認められなかった
2	ひび割れ及び剥がれの発生は認められなかった
3	ひび割れ及び剥がれの発生は認められなかった

④ 曲げ強さ試験

曲げ強さ試験の結果を、表-7 に示す。

表-7. 曲げ強さ試験結果

番号	曲げ強さ (N/mm ²)
1	8.1
2	8.4
3	7.7
平均	8.1

⑤ 圧縮強さ試験

圧縮強さ試験の結果を、表-8 に示す。

表-8. 圧縮強さ試験結果

番号	圧縮強さ (N/mm ²)	
1	25.0	22.6
2	28.2	27.9
3	24.5	27.5
平均	26.0	

⑥ 付着強さ試験（標準養生、低温養生）

付着強さ試験（標準養生、低温養生）の結果を、表-9 に示す。

表-9. 付着強さ試験（標準養生、低温養生）結果

番号	標準養生		低温養生	
	付着強さ (N/mm ²)	破断位置	付着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	1.7	下地調整塗材	1.7	下地調整塗材
2	2.1	基材	1.5	下地調整塗材
3	2.1	下地調整塗材	1.5	下地調整塗材
平均	2.0		1.6	

⑦ 吸水試験

吸水試験の結果を、表-10 に示す。

表-10. 吸水試験結果

番号	吸水前の質量 (g)	吸水後の質量 (g)	吸水量 (g)
1	264.76	266.07	1.31
2	271.59	272.91	1.32
3	274.74	275.99	1.25
平均	—	—	1.3

⑧ 透水試験

透水試験の結果を、表-11 に示す。

表-11. 透水試験結果

番号	透水量 (mL/h)
1	0.02
2	0.03
3	0.00
平均	0.0

⑨ 長さ変化試験

長さ変化試験の結果を、表-12 に示す。

表-12. 長さ変化試験結果

番号	長さ変化率 (%)
1	-0.11
2	-0.11
3	-0.11
平均	-0.11

⑩ 仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験

仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験の結果を表-13 に示す。

表-13. 仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性試験結果

	温冷 10 サイクル後の 表面状態	付着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.1	下地調整塗材 2 仕上材 8
2	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.1	下地調整塗材 5 仕上材 5
3	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	1.3	下地調整塗材
平均		1.2	

⑪ 仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性試験

仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性試験の結果を表-14 に示す。

表-14. 仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性試験結果

	付着強さ (N/mm ²)	破断位置
1	2.0	張付用モルタル
2	1.4	下地調整塗材
3	1.0	下地調整塗材
平均	1.5	

試験結果一覧表

試験結果一覧表を表-15 に示す。

表-15. 試験結果一覧表

試験項目		試験結果	品質基準 (JIS A 6916:2021) CM-2	品質基準値に 対する適・不適
軟度変化 (%)		-2	-20~20	適
耐ひび割れ性		ひび割れの発生は認められなかった	ひび割れがない	適
耐 衝 撃 性		ひび割れ及び剥がれの発生は認められなかった	ひび割れ及び剥がれない	適
曲げ強さ (N/mm ²)		8.1	5.0 以上	適
圧縮強さ (N/mm ²)		26.0	10.0 以上	適
付着強さ (N/mm ²)	標準養生時	2.0	1.0 以上	適
	低温養生時	1.6	0.7 以上	適
吸 水 量 (g)		1.3	2.0 以下	適
透 水 量 (mL/h)		0.0	0.5 以下	適
長 さ 変 化 (%)		-0.11	0~-0.15	適
仕上材が 複層仕上塗材 の場合の 耐久性	表面状態	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	割れ、膨れ及び剥がれない	適
	付着強さ (N/mm ²)	1.2	1.0 以上	
	破断位置	下地調整塗材 仕上材	仕上塗材だけで破断した場合は付着強さは0.7 以上	
仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性 (N/mm ²)		1.5	0.6 以上	適

*本試験結果は、弊社 試験室で行った結果であり、製品の保証値ではありません。

以上